うすきエネルギー株式会社

うすきエネルギーの事業概要

うすきエネルギー株式会社
取締役　小川 拓哉

Copyright©2017USUKI ENERGY CO.,LTD.All rights reserved.

うすきエネルギー株式会社

・社　　名　うすきエネルギー株式会社
・設　　立　2016年（平成28年）10月31日
・資　本　金　1000万円（株式会社クールトラスト　45%、地元企業3社ほか55%）
・代表取締役　小出　浩平
・所　在　地　大分県臼杵市佐志生5154番地の1　旧豊洋中学校
　　TEL/FAX (0972) 77-5484
・事 業 内 容　電気の売買事業およびその仲介
　　【経済産業省登録小売電気事業者A0389】
　　発電所の建設、発電事業およびその仲介

・主要取引先　市内公共施設、醸造、造船、福祉施設等

※うすきエネルギー株式会社　ロゴマーク
エネルギーのイメージとして伝わりやすい電球を中心に、円の中に葉っぱ、さらに臼杵市の名産である「ふぐ」、「大豆」、「かぼす」、お酒や味噌・醤油つくりが盛んということで「麦」や「大豆」をちりばめて臼杵らしさをだしました。

臼杵市の概要

人口：3.5万人　面積：291.2㎢

・古くから水に恵まれた醸造のまち
・有機農業を積極的に推進
・ユネスコ　食文化創造都市に認定
　（２０２１年
　　山形県鶴岡市につぎ、２番目）

食文化創造都市
臼杵

沿革（市の取組と設立経緯）

2007～　臼杵市ほんまもんの里農業推進センター開設＞有機農業の振興

2010～　農林振興課内に有機農業推進室を設置

＞臼杵市土づくりセンター稼動　＞翌年「うすき夢堆肥」販売開始

＞★㈲ワタミファーム臼杵農場開設

2011～　ほんまもん農産物認証制度発足　★深刻な水不足発生

＞100年以上の歴史がある、酒・味噌・醤油（醸造業）に被害

2012～　「水資源確保に向けた事業展開に関する提言」

＞水源涵養の森林づくりモデル整備事業開始、水源確保地1,800ha指定

2013～　★ワタミの森「臼杵」開設

2014～　臼杵市とワタミグループにて水源涵養の森づくり共同宣言書、社員市役所派遣

2015～　バイオマス産業都市認定

★ファーム＆エナジー㈱臼杵事業所開設（林業事業開始）

2016～　4月　臼杵事業所にて、電力小売事業開始

10月　地産地消のエネルギーを目指し「うすきエネルギー㈱」設立

2017～　臼杵事業所の電力小売事業を、うすきエネルギー㈱へ移管

市内太陽光発電所の電力買取サービス開始

2021.4　うすきエネルギーの株式譲渡（ワタミG　⇒　クールトラスト）

臼杵地域でのワタミGの農業・林業事業　撤退

2021.7～　小型木質バイオマス発電所（ワタミG所有）　発電開始

2022.6　地域の事業者に株式譲渡

（市内のLPガス会社、醸造会社2社、取締役2名に55%譲渡）

臼杵市の取組み

臼杵市バイオマス産業都市構想の概要

大分県臼杵市、人口 約4.1万人、面積 約2.9万ha

構想の概要

「ほんまもん農産物」を中心とした有機農業、水源涵養機能を高めるための持続的な林業、臼杵湾で獲れる「海のほんまもん」漁業を軸に、そこに循環する「水資源」を豊かにするために、家庭・製造業と連携した形で地域内での循環型社会の構築を目指す

1. 将来像

① 地域内の未利用間伐材等を原料とした木質燃料製造施設、小型木質バイオマス発電施設を新設、食品残渣を原料としたバイオガス発電施設の新設を検討。
② 熱エネルギーとしての木質資源活用を促進
③ 廃油をBDFに精製し活用
④ 発電した電力を地域内に供給する新電力(地域PPS)を設立し、電気の地産地消の構築を目指す

2. 事業化プロジェクト

① 木材カスケードセンター
・原木を集荷し品質に適した出荷先、利用先に振り分け、価値を最大化
② 臼杵エネルギーパーク
・木質ペレットでガス化発電
・焼酎廃液をメタン発酵し発電
③ 新電力(地域PPS)事業
・発電した電気を地域内に販売する仕組みを構築
④ 循環型地域活動推進事業

3. 目標(5年後)

バイオマス目標利用量
① 未利用資源の林地残材及び間伐材:3240t/年
② 食品加工廃棄物:7000t/年

4. 地域波及効果

① 臼杵市の農林水産業の「ほんまもん」ブランドの構築
② 水源涵養機能を有した森林の保全と雇用の創出(未利用材6,000㎥の活用、新規雇用5名程度)
③ 地域循環型食・エネルギーの構築による普及啓発効果
④ 温室効果ガス削減効果(CO_2削減量:2,058t)
⑤ 地域産業振興・雇用創出

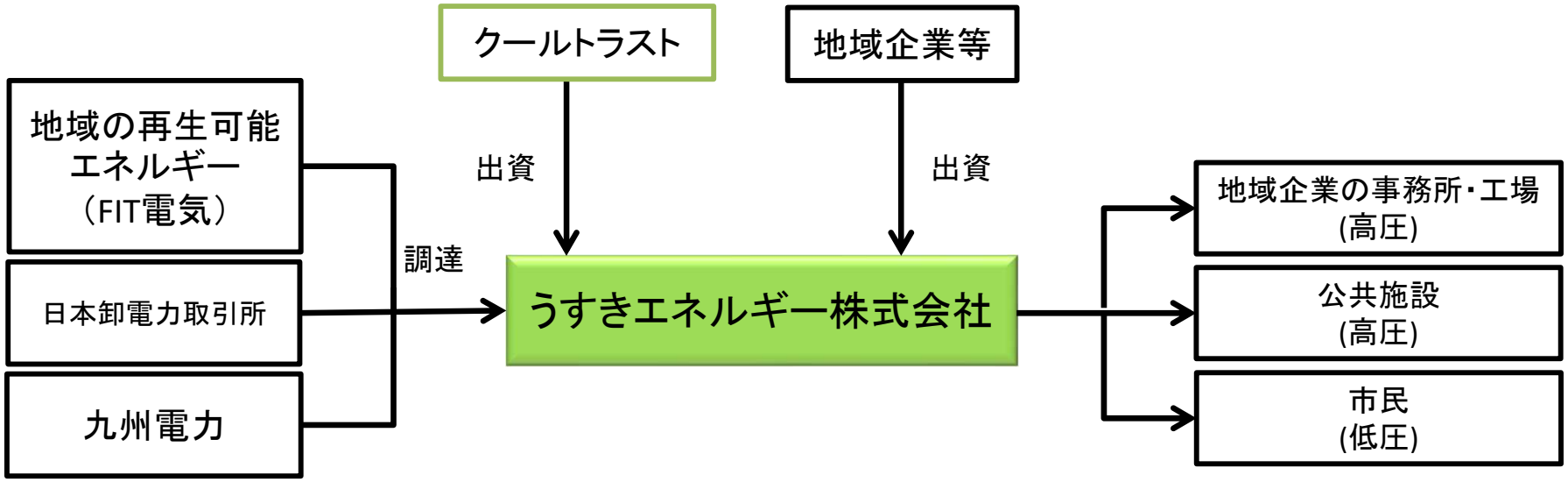
5. 実施体制

・協働まちづくり推進局が責任者となり部門横断的に事業を推進
・バイオマス産業都市構想推進協議会を設立し、連携して事業を実施

6. その他

ほんまもんの里みんなでつくる臼杵市食と農業基本計画(H22)、臼杵水源の森基金条例(S61)、臼杵市地球温暖化対策実行計画(H24)、第二次臼杵市総合計画(H26)

うすきエネルギーの電力供給図



太陽光発電

メタンガス発電

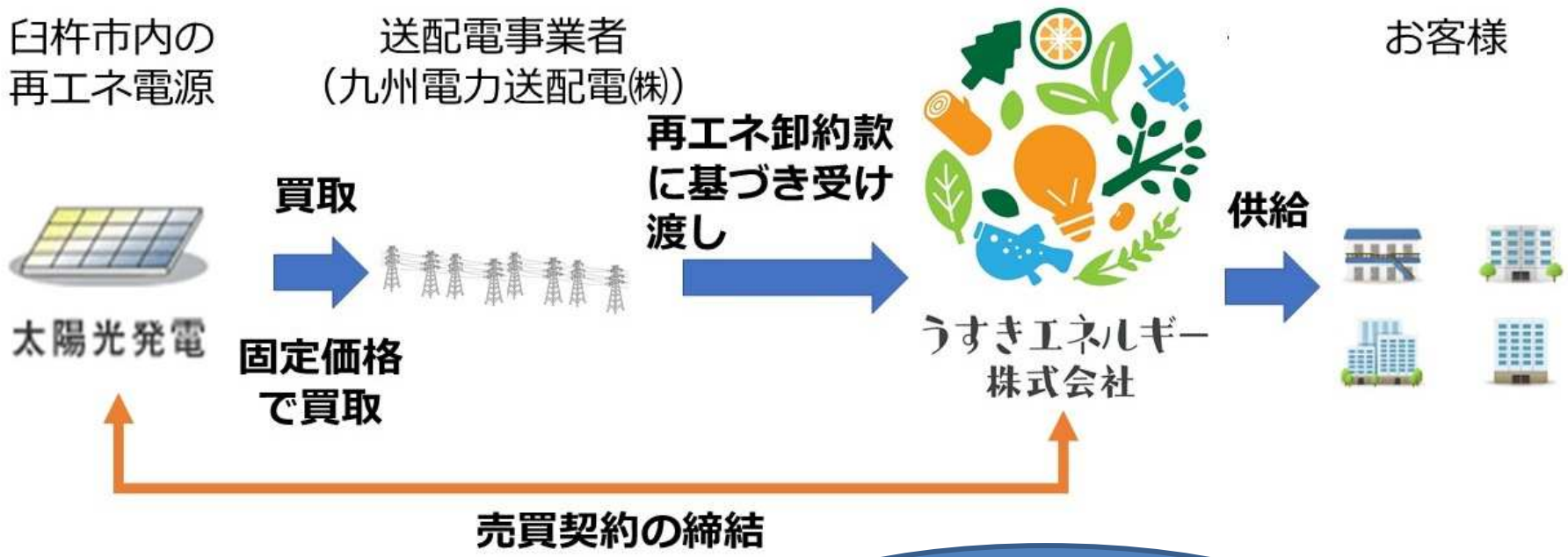
木質バイオマス発電

※FIT電源を特定卸供給で使用（20%程度） 卒FIT ： 2件（個人宅）

うすきエネルギー株式会社

地域でのエネルギーの地産地消を目指す

再生可能エネルギー電気卸供給を利用してFIT電源を皆様に供給中



全体の20%くらいが
臼杵市内のFIT電源

1

うすきエネルギー株式会社

様々なお客様に　電気を供給中！

市役所、小学校・中学校、市内の工場、造船所、ご家庭にも

臼杵で生まれた電気を含んだ電気をお届けしています。

提供している地域貢献型プラン

①子育て世帯応援プラン

③うすきふるさとプラン

②スポーツクラブ応援でんきプラン

④卒FIT買取プラン

環境教育・講演活動の実施

児童生徒の年齢などに応じて分かりやすく説明。

電気は目に見えないもの。レモンを使った実験は灯りで目視できる。

敷地内にある木質バイオマス発電所。スギの未利用材を加工したチップで発電する。

資源を有効活用することで地元の山に手が入り、林業振興が期待できる。

探究学習PROGRAM 6

電力の地産地消研修

臼杵 まなび旅

エネルギーを通して この町を守りたい 広がる共感の和

市内の太陽光発電や山の未利用材を使ったバイオマス発電、味噌工場でのメタンガス発電などで作られた電気を市内に届けることで、地域経済の活性化や林業振興にも取り組んでいるという。

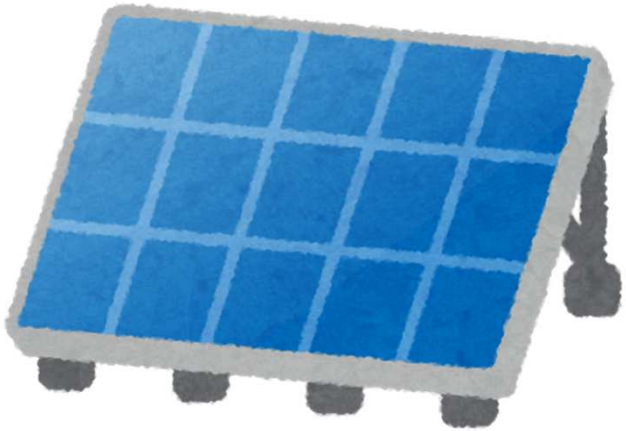
うすきエネルギー株式会社
取締役　小川拓哉さん

プログラム名	⑥電力の地産地消研修
概要	臼杵市内で伐採した木材をチップ加工、燃焼させて電力に変える取組を学びます。
受入可能人数	40名
受入可能期間	通年（平日の9:00～17:00）
所要時間	約1時間（①オリエンテーション②発電所の見学③化学実験など）
雨天対策	可能
備考	
お問い合わせ	TEL0972-77-5484（うすきエネルギー株式会社）

ふるさと納税　／　省エネ診断

その他の取り組み

調査委託事業



太陽光の自家消費（PPA事業）

節電プログラムの実施

自治体との関係性

■資本関係
臼杵市と資本関係はない。

■協定等のつながり
「バイオマス産業都市構想」の推進のため、協議会開催の支援などを実施。
「バイオマス」を軸とした関係性を。

“小規模バイオマス発電及びエネルギー供給の検証・研究に関する連携協定”（2019年）を締結。
また、脱炭素社会実現に向けた様々な取り組みに協力していくとした“臼杵市とうすきエネルギー株式会社の取り組みに関する覚書”（2021年）を締結。

■電力供給
臼杵市の公共施設に1年更新で電力を供給中。

今後の方向性

地域のゼロカーボン化に貢献し、

臼杵発！の地域が主役の豊かな

地域社会を実現すること

うすきエネルギーは、**地域での脱炭素の取り組み**について、様々な角度・分野で市と連携して、事業を実施していくことを目指します。

＜強み＞

・地域に根差して、**脱炭素の取り組みを伴走**しながら実施できる
＞地域に事業所をおく事業者として、**市民への普及啓発**（環境教育）や**省エネ診断等の省エネ活動**など、電力事業に留まらない貢献が可能

・電力小売事業をベースにして**地域に密着した取り組み**を行っている
＞**子育て応援プラン**、**青少年育成応援プラン**などを地域で展開

・**再生可能エネルギー導入**（太陽光発電、バイオマス発電、小型風車等）に関する地域での導入ノウハウがある
＞**木質バイオマス発電**の運営。**PPA事業**等の実績もグループで有する。自家消費型太陽光導入の支援も実施。

・地域の脱炭素化の取り組みに関する**専門ノウハウ**がある
＞脱炭素ビジョンの策定に向けて、他自治体での計画策定など含めて知見を有している
＞民間企業への支援も。地域の競争力向上に繋がる